

北海道白糠養護学校

学校だより

第2号 令和2年 7月 3日発行

発行責任者 校長 仲條 正輝

【お問い合わせ先】

北海道白糠養護学校 学芸部

〒088-0351 白糠町和天別147-2

TEL/FAX 01547-2-5353

代表メール hakuyou@hokkaido-c.ed.jp

HP <http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/>

「学校再開にあたって」

北海道白糠養護学校 校長 仲條 正輝

道による緊急事態宣言解除後の6月1日（月）より本校は学校を再開し、段階的な登校期間を経て、6月15日（月）より通常日課に戻して、教育活動を行っています。

保護者の皆様ならびに学園の皆様におかれましては、約2ヶ月間多大なご負担とご心配をおかけしましたが、皆様のご理解とご協力のおかげをもちまして、大事には至らず予定どおり学校が再開できたことに対しまして、改めて深く感謝申し上げます。

学校が再開した6月1日（月）の朝に校内放送で、再開にあたってのメッセージを児童生徒の皆さんにお話ししました。以下メッセージで読み上げた内容です。

今日から学校が始まりました。途中、学校には来ることができましたが、毎日学校がなかったため、退屈だったり、不安だったことと思います。今週は午前中だけですが、毎日学校があります。校長先生も先生方も、みなさんが学校に毎日来ることを心待ちにしていました。学校が始まって嬉しくて仕方のないお友達もいると思いますが、少しずつ、学校に慣れていきましょう。さて、学校は始まりましたが、みなさんにもお願いがあります。コロナウィルスの感染はまだ終わっていません。お医者さんもまだ治すのにはとても時間がかかっています。ですから、学校が始まって今までと同じようにマスクを着けたり、手洗いをしっかりしたり、お友達と少し離れてお話ししたりしましょう。また、嬉しくなって先生や友達と手を合わせてハイタッチしたり、むやみにいろいろなところを触らないようにしましょう。調子が悪くなったら、すぐ先生に言いましょう。たくさんありますが、よろしくお願ひします。

長く学校がお休みになったことで、運動会は中止になりました。楽しみにしていた児童生徒のみなさんもいたと思います。仕方のないことですが、本当にごめんなさい。

また、見学旅行についてもコロナウィルスからみなさんを守るために行き先を変更して行う予定です。特に、高等部3年生のみなさんは、東京に行くことを楽しみにしていたと思いますが、このようなことになり本当にごめんなさい。運動会については、別な方法で何かできないか考えています。決まったらまたみなさんにお知らせします。見学旅行については、行き先は変わりますが、行う予定ですので、楽しみにしててください。

最後に、コロナウィルスがまた広がってしまう可能性もあります。そのときには今回のように学校もお休みになるかもしれません。学校はみなさんの命を守ることを一番に考えています。ですから、コロナウィルスをうつされたり、うつさないためにも先生や学園の先生の言うことを守って、これから学校生活を送ってください。

いつもと違う形で校長のメッセージを伝えることになりましたが、放送に耳を傾けていた児童生徒もたくさんいたと聞いています。

コロナウィルスの感染のリスクが完全に終息したわけではありません。緊急事態宣言は出されていませんが、道内では札幌を中心に依然として感染者が出ている状態です。経済の復旧も叫ばれている中で、多くの店舗・施設が営業を再開し、人手が戻ってきています。釧路管内はしばらく感染者が出ていませんが、ウィルスは至る所に存在するとも聞いていますので、引き続き必要な感染症の対策を継続しながら、慎重に教育活動を進めてまいりますので、保護者の皆様、学園の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

合同避難訓練（地震・津波）

6月9日に本年度第1回目の合同避難訓練を行いました。今年度は、コロナウィルス感染症予防のため、車への乗り込みは行わずに駐車場までの避難となりました。おはしもち（押さない・走らない・しゃべらない・もどらない・近寄らない）の約束を守りながらそれぞれが落ち着いて避難することができていました。車への乗り込みは次回以降練習を重ねていく予定です。

釧路地方気象台からは、7分で津波第1波が海岸線に到達、その後本校駐車場には地震発生から約10分で勢力を増して到達すると言われています。そのためできるだけ早く、具体的には10分以内に全員が車に乗りパシクル集会所へ向かえることを目指しています。

高等部では授業で防災カルタに取り組み、地震、津波などの災害における危険から身を守る方法について学んでいます。「一人も逃げ遅れない」、「全員生き残る」ために瞬時にどう判断し、どう動くかが重要になってきます。自分たちで考え適切に行動できるよう今後も指導、訓練を重ねていきます。また学園、保護者のみならず、消防署やパシクル集会所の方々など関係機関からのご理解・ご協力を得ながら本校の防災対策や防災教育を強化していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

（生徒指導部：印牧 遥）



避難の約束を確認！！



防災カルタの取り組み
(高等部生活単元学習)



本校ホームページの紹介

北海道白糠養護学校のホームページを随時更新しています。「北海道白糠養護学校」と検索していただくか、下記のURLへアクセスしていただくことができます。トップページには校舎や四季折々の学校周りの様子が表示され、学校の様子や更新情報などがアップされています。その他にも、くろーばーねっとわーく（根釧地区特別支援教育ネットワーク協議会）、学校評価、学校評議員会、アクセス情報など、随時更新しています。特に「学校案内」と「特別支援教育」のページには行事の様子や教材紹介、コラムなどホットな情報が満載です。ぜひ一度ご覧ください。また、「教育・発達相談」や「入札情報」など必要な情報もページ別に閲覧することができます。

本校のホームページでは、個人情報に留意しながら児童生徒の学習や行事の様子を発信して、本校の教育活動へのご理解、ご協力を深めていきたいと考えています。ぜひご覧いただき、本校の取り組みを知っていただければ幸いです。

（学芸部：久保 真希）



本校ホームページ URL : <http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/>

学習の様子

長かった臨時休業も終わり、子どもたちは本調子ではないものの、日ごとに学校生活にも慣れ、笑顔や笑い声のある学校に戻ってきました。

コロナの影で忘れがちですが、今年は教育界では大きな変化、小学校の学習指導要領が約10年ぶりに新しくなっています。わかりやすいところでは、小学部で英語の学習が増えたりしていますが、本校では数年前から準備をしてきたこともあり、ぱっと見て大きな変化はありません。今年からどの小学校（数年前から本校では中、高も）でもすべての学習において「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」の3つの観点にそって学習内容を整理し、評価することになりました。これによって、子どもたちにとってどんな力が必要なのかを、バランス良く考えることができるようになっていきます。個別懇談の際に、たとえば「うちの子の体育の時間の思考・判断力って何ですか？」など、質問されてみてはどうでしょう。一つ一つの学習内容・評価には、これまでの学びの履歴と、こうなりたい、こうなってほしい、という本人・保護者の思いと、それを実現しようとする教師の思いが隠れています。

また、今年は感染症予防のため、学習活動全般にわたって感染対策を行っています。写真はその一部ですが、これからも長く続くことを想定して、それぞれの職員が考えながら対応しています。（教頭）



英語の時間、発音や歌をうたう際に、生徒の間にビニールのパーティションを使っています。



昼食後のしあげ磨きの際、教員がフェイスシールドを着用しています。

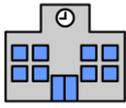
今後の学校運営についてお知らせ

5月29日に文書でお伝えしていますが、臨時休業に伴う学びの保障のため、1学期の終業式を一週間遅らせることといたしました。（終業式 7月22日→7月31日）

また、北海道のコロナ対策が6月19日からステップ2に移行したこともあり、7月1日から、保護者等の来校制限を十分な感染対策を行った上で緩和いたします。学校の滞在は最大で1時間程度としますので、保護者懇談も可能になりますが、当面は来校前のご連絡をお願いいたします。

運動会につきましては、今年度は中止といたします。代わりに授業の中で、各学部ごとに競技（車いす折り返し走、申告レース、テニスボール正確投げ、バレーボール正確転がしの中から選択）を行って記録をとる予定になっています。

例年、夏季休業中に行っていました「サマーセミナー」につきましては、夏季休業中には行わず、延期または中止になるか検討中ですので、決まりましたらお知らせいたします。



相談支援部から

学校公開について

前号でお知らせしましたが、例年5月に行っておりました『学校公開』は中止とさせていただきます。9月25日（金）に予定しております『学校公開』は、人数を制限させていただく、担当が授業を案内させていただくなどの感染症対策を行いながらの実施を検討しています。詳しくは8月上旬にホームページ等でお知らせいたします。

白糠町、釧路市音別地区における保・幼・小・中・高のコーディネーター等 及び関係機関研究協議会について

例年、年2回行っております『白糠町、釧路市音別地区における保・幼・小・中・高のコーディネーター等及び関係機関研究協議会』ですが、今年度は8月下旬の1回目は中止とさせていただきます。冬季に行っております協議会は、令和3年1月28日（木）に予定しておりますので、近くなりましたら地域の学校のコーディネーターの方、福祉関係の方等にご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。



教育相談等について

今年度は、コロナウィルスの関係で、各学校共に学校見学や学校公開も大変難しい状況ですが、子どもたちの学習活動や進路指導には支障なくすすめていくことができるように各学校努力されているようです。本校においても、1回目の学校公開が中止になりましたが、教育相談や学校見学などご希望があれば随時ご相談に応じますので、是非ご連絡ください。本校は、肢体不自由のお子さんのための特別支援学校ですが、障がいの種類は問わず相談をお受けします。

なお、ご相談内容によって『くろーばーねっとわーく』が対応いたします。



お困りごとがあったら？連絡して下さい！

根釧地区特別支援教育ネットワーク協議会（くろーばーねっとわーく）とは、根釧地区特別支援教育ネットワーク協議会のことで、根釧地区にある4つの特別支援学校の連携組織です。根室・釧路管内の教育にかかわる相談を全般的にお受けしています。

<http://www.clover-net.hokkiado.ed.jp/>

ある学習活動から

先日、学習活動の中で「自動車」と答える問題がありました。解答用紙にはひらがなで「□□□□□」五文字で答えるというものでした。明らかに子どもはそれが何かということは分かっているのですが、ひらがな五文字というところで答えることができないようでした。さて、なぜ「じどうしゃ」と答えることができなかったのでしょうか。どうでしょう、わかりましたか。この生徒は、「くるま」という言葉しか知らなかった、あるいは思い出すことができなかったのです。このようなエピソードからもわかるように同じものでも、少し難しい（ステップアップした）言葉を伝えて覚えていくことも必要です。分からないから伝えないのではなく、具体物や絵カード等と合わせて言葉を伝えていく、またそのものの性質や特徴も合わせて伝えることで子どもたちの語彙を増やすことにつながるのではないのでしょうか。



（相談支援部：犬養 幸恵）